

(財)エンジニアリング振興協会 地下開発利用研究センター

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-4-6 CYDビル

TEL 03-3502-3671 (代) / FAX 03-3502-3265

ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 251 号 / 2010. 8

Index

- 第 64 回定例理事会 報告
- 第 52 回評議員会 報告
- エン振協研究成果発表会 2010 開催報告
- 平成 22 年度
(財) JKA 補助事業 第 1 回 委員会報告
- C02 マイクロバブル地中貯留の成立性に関する調査研究
- 地域開発に資する低温地熱発電の可能性調査
- 地下水・再生水利活用の地下空間利用に関する調査
- 新任ご挨拶
- 退任ご挨拶
- 会員の皆様へのお知らせ

■ 第 64 回定例理事会 報告 ■

平成 22 年度第 64 回定例理事会が、6 月 25 日 (金) 16:00~17:20 当協会において開催されました。以下のとおりの議題について審議および報告があり、審議事項についていずれも承認されました。

第 1 号議案：平成 21 年度事業報告 (案) および
決算報告 (案) について

決算報告では、新たに、新規事業開発積立資産および事務所移転等積立資産の設置が承認されました。

第 2 号議案：平成 22 年度【財】JKA からの補助
金を受け入れて補助事業を実施する
件について

第 3 号議案：評議員の交替に伴う委嘱について
新任：内藤貴也 ((株)日本政策金融公庫 国際協
力銀行 専任審議役)
辞任：角谷講治

第 4 号議案：一般財団法人移行後の役員体制につ
いて

移行後の最初の代表理事および業務執行理事
の選定を含め 19 名の理事および監事 2 名が承
認されました。

第 5 号議案：最初の評議員候補者の推薦について
一般財団法人エンジニアリング協会の最初の評
議員候補者 19 名について承認され、「評議員選
定委員会」に推薦することとなりました。

第 6 号議案：定款の変更の案の附則の修正につ
いて

第 7 号議案：諸規程の改正案について
※なお、本理事会において承認された平成 21 年
度事業報告および決算報告については、ホームペ
ージに掲載。

▼詳細はこちら

<http://www.ena.or.jp> (協会の概要 欄)

■ 第 52 回評議員会 報告 ■

平成 22 年度第 52 回評議委員会が、6 月 25 日 (金)
14:00~15:15 当協会において開催されました。以下
のと通りの議題について審議および報告があり、審
議事項についていずれも承認されました。

第 1 号議案：平成 21 年度事業報告 (案) および決
算報告 (案) について

第 2 号議案：理事の交替に伴う選任について
次の方々の理事交替がなされました (敬称略)。

新任：荻野 清 (石油資源開発(株) 常務執行役員)

辞任：棚橋 祐治

新任：小野 義之 (清水建設(株) 執行役員

エンジニアリング事業本部長)

辞任：野村 哲也

新任：北澤 通宏（富士電機ホールディングス(株)
代表取締役社長）

辞任：伊藤 晴夫

新任：田代 民治（鹿島建設(株)
代表取締役副社長執行役員）

辞任：中村 満義

新任：三輪 昭尚（(株)大林組
取締役専務執行役員）

辞任：白石 達

新任：吉田 昌和（(株)竹中工務店 常務執行役員）

辞任：竹中 統一

第3号議案：最初の評議員候補者の推薦について
一般財団法人エンジニアリング協会の最初の評議員候補者19名について承認され、「評議員選定委員会」に推薦することとなりました。

第4号議案 定款の変更の案の附則の修正について

第5号議案 諸規程の改正案について

■ エン振協研究成果発表会 2010 開催報告 ■



会場風景



入澤常務理事 御挨拶

当協会では、恒例となりました研究成果発表会2010を7月8日(木)～7月9日(金)の2日間にわたり開催しました。

地下開発利用研究センターの成果発表は、7月9日(金)午後に行われました。入澤常務理事の挨拶の後、平成21年度 JKA補助事業4セッション、受託事業2セッション、地下利用推進部会（4つの部会）のセッションの各研究成果について発表しました。

当日、午前中に行われた石油開発環境安全センターと併せて12セッションにおよぶ盛り沢山の成果発表会となり、延べ803名の皆様に御参加いただきました。

この紙面をおかりいたしまして、各セッションとも熱心な説明をしていただきました講師の皆さま方に、厚く御礼申し上げます。

次年度も、より一層の充実をはかった研究成果発表会が開催できるように努力してまいります。

■平成22年度 （財）JKA 補助事業 第1回 委員会報告■

＊本事業は競輪の補助金を受けて実施しています。

□C02 マイクロバブル地中貯留の成立性に関する調査研究

平成22年度第1回委員会(委員長：當舎 利行氏（独）産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 主幹研究員)が、平成22年6月24日(木)に当協会会議室で開催され、実施計画に基づき調査研究の進め方が審議されました。

1.目的

地下水に溶解するマイクロバブルの特性を活かし、既往の深部塩水層貯留に対し、CO₂をマイクロバブルによって地中貯留する概念の成立性に関する調査研究を行う。特に、安全性と経済性に関して留意した検討を進める。

2.活動内容

(1) 貯留概念の整理とシステム概念の検討

マイクロバブルの特性や貯留概念、システム概念について、既往の研究事例や検討事例を調査する。

(2) CO₂ マイクロバブル地中貯留システムのモデル構築

いくつかの地質条件を想定してCO₂マイクロバブル貯留システムについて検討し、その貯留モデルを例示する。

(3) 課題の抽出・整理および検討

CO₂ マイクロバブル地中貯留の技術的成立性、経済性や安全性などについて課題を抽出し、整理する。

□地域開発に資する低温地熱発電の可能性調査

平成 22 年度第 1 回委員会（委員長：海江田 秀志氏（財）電力中央研究所 地球工学研究所 地圏科学領域上席研究員）が平成 22 年 6 月 29 日（火）に当協会会議室で開催され、実施計画に基づき調査研究の進め方が審議されました。

1.目的

本調査研究では、従来の自然公園の規制や、既存温泉への影響の懸念などの社会的要因に加え、開発コストによりリスクが高い地熱発電にくらべ、自然公園等の規制がなく既存の温泉からも離れた低温地熱地域において、地熱の利用可能性を調査することを目的とする。

2.活動内容

今年度は、以下の項目を検討することとなった。

(1)地熱資源量の評価

これまで地熱資源の観点から調査が行われてこなかった地域を対象に、文献資料から地域の概略の水理地質構造を構築し、地熱の貯留層とそうでない帯水層の区分を行い、地熱資源量の評価を試みる。

(2)低温地熱発電システムの検討

120℃以下の低温発電が可能な発電方式の調査を行い、地熱の賦存状態に応じた適切な発電システムの検討あるいは実用化へ向けた課題の抽出を行う。

□地下水・再生水利活用の地下空間利用に関する調査

平成 22 年度第 1 回委員会(委員長：徳永 朋祥氏 東京大学大学院 新領域創成科学研究科環境システム学専攻 准教授)が、平成 22 年 7 月 2 日(金)に当協会会議室で開催され、平成 22 年度の実施計画に基づき、調査研究の進め方が審議されました。

1.目的

今年度は、「モデル地域を選定し、官民連携した水循環系と防災・減災システムのネットワーク構築を計画する」に着眼し、①モデル地域において健全な水循環ネットワーク・システムを計画し、提案するシステムの構築の前後で、②環境分野・防災分野・心理的側面からの改善効果を評価する。

また、ネットワーク構築のための建設技術、概

算事業費、事業協力の可能性について検討することを目的とする。

2.活動内容

今年度の調査研究内容は、次の事項の検討により、新技術についても整理するとともに、平成 21 年度に検討した「基本コンセプト」についても改善を加える。

- (1) モデル地域における概略計画
- (2) 環境保全・改善効果の推定
- (3) 各施設構造・機能等のシステム建設方法
- (4) 概算事業費の検討
- (5) 官民協業の可能性

■新任ご挨拶

宮島 信一（管理部 部長代理）



7月1日付けを持ちまして、当財団のお世話になることとなりました宮島でございます。

担当の業務は、前任・菊池部長代理様の担当業務内容をそのまま引継ぎをさせていただき予定でございますので、皆様のご協力なら

びにご指導・ご支援をお願いいたします。

当財団では、1年生としてゼロからのスタートではありますが、1968年に電源開発㈱（以下 JP）

に入社してから本年6月30日付けでJPグループを離れるまで、JP 本体とならびにその関連会社等を含む40余年の長きに亘るこれまでの勤務経歴は、何らかの形で経理関連の業務であり、公認会計士監査の対応は無論、会計検査院の検査や税務調査の対応等も経験して参り、また、古い経験ながら20年ほど前に（当時の名称で）（財）石炭利用総合センターでの約3年の経理課長としての勤務経験なども含め、これら経験の一端がこれからの担当業務に少しでも役立てることができたらと思っております。

（平成22年7月1日着任）

和田 弘（技術開発第二部 研究主幹）



7月16日付で地下開発利用研究センター技術開発第二部に着任しました和田です。応用地質株式会社からの出向です。出向元では1982年の入社以来、物理探査を主とする地質調査をはじめ、原子力関連施

設やUHV送電線鉄塔基礎などの地盤物性評価や関連する計測システムの構築などの業務を経験してきました。ここ十数年は社内外の地盤に関する様々なデータベース設計・構築やナレッジマネジ

メントシステムの構築・運用などITを活用した業務に携わってきました。地下センターでは、前任の加藤さんの業務を引き継いでおりますが、これまでと全く異なる業務内容、環境に戸惑いつつも、一日でも早くここでの業務に慣れるべく日々、悪戦苦闘しております。まだまだ至らぬことも多いですが、ここで働くことになったのも何かの縁と思い、皆様との良い関係を築けるよう、また、これまでの経験が少しでも活かされればと思っております。

（平成22年7月16日着任）

■退任のご挨拶■

加藤 猛士（技術開発第二部 主任研究員）

このたび、平成22年7月15日を持ちまして、2年間お世話になりました地下開発利用研究センターを退任することとなりました。在職中は、災害時に対するテーマとして、中小企業の事業継続および緊急物資輸送車両支援システムに関わる2件の受託事業と、地下水・再生水の利活用に関わる補助事業を担当し、多くの皆さまと出会い、たくさんのご指導とご教授を賜りました。本当にありがとうございました。

出向元の川崎地質株式会社へ帰任後は、社業の地質調査を中心とした業務に取り組んで参ります。今後も研鑽を重ねていき、今までとは違った場面で皆さまに再会できることを楽しみにしております。

末筆となりましたが、今後の皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

（平成22年7月15日退任）

■会員の皆様へのお知らせ■

□第329回サロン・ド・エナ開催のご案内（8月のサロン・ド・エナは休会、次回は9月の開催です。）

1. 日 時：平成22年9月15日（水）16：30～19：00
2. 場 所：テーマ：「スマートグリッドの動向と具体的取組み事例」（予定）

講師および講演の詳細他は8月中旬にホームページ(<http://www.ena.or.jp/GEC/>)に掲載予定です。